No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
1	(1)調査研究・ア ドバイス	包括連携協定の推進	包括連携協定を推進するため、連携 協議会等を開催	大学等と各部署の連携の推進及び全 体把握ができた		経営戦略課
2	(1)調査研究・ア ドバイス	大学・高専発 研究提案	大学・高専の知見や教員の研究成果 を活用し、豊田市をフィールドとし た調査・研究等の実施を通して、ま ちづくりの課題解決を図る			経営戦略課
3	(3) まちづくり・ 地域づくりと研究の 連携	「地域・大学等連携シン ポジウム in 豊田市」の 開催	地域と大学・高専をつなぐシンポジ ウムの開催	市民活動団体や他の大学連携機関等多くの人に本市の大学連携の取組を周知でき、今後の地域と大学等との連携促進につなげる機会とすることができた。	0	経営戦略課
4	その他		大学・高専の教員に対する地域等と の連携等に関する意向調査	教員77名から回答あり	0	経営戦略課
5	(5)教育カリキュ ラム(授業)	旭地区ボランティア実習 プログラム	旭地区を学外学習プログラムの フィールドとし、学生による地域活 動への支援を実施	高齢化の進むまちづくり活動の担い 手として、地域活性化に寄与した。		旭支所

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
6	(7)学生の活動場 所提供	・食品口ス削減	1。学生考案の防災非常食活用オリジナルレシピの作成2。イベント出展3・エコットでの食品ロス削減調理教室	もったいないの視点だけでなく、栄養面や若者の視点を加えた食育&食品ロス削減に事業を拡大	0	環境政策課
7	(4)防災に関する 協力・連携	ふじおか防災キャンプ	47災害から50年の節目にあたり、災害の記憶の継承と防災意識の向上を目的に、宿泊、食事づくり等避難所生活を体験する1泊2日の防災キャンプを開催	(キャンプ参加者) ・長期化する避難を見据えた災害時の食事について考える機会が持てた。 (大学) ・電気、ガス、水が不十分な環境で調理する実践的な場が得られた。 ・「食(栄養)×防災」のPR	0	藤岡支所
8	(7) 学生の活動場 所提供	工コ企業取材班	協定企業のエコな取組を取材し、まとめを作成する	学生へのPRにつながった	0	環境保全課
9	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	豊田市地域経営懇話会	行政改革の推進に関する審議等	大学の高度な知見を本市の施策に活 用することができた。		行政改革推進課
10	(6)公開講座の実 施	認知症サポーター養成講座	認知症についての正しい知識と対応を学ぶ	認知症に関する理解啓発		高齢福祉課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
11	(7) 学生の活動場 所提供	ハイブリッド型企業研究 イベント	学生と企業のマッチングイベント	学生への事業周知、参加勧奨、出展		産業労働課
12	その他	学生まちづくり講座	学生の活動、視点を活かして、魅力 あるまちづくりを進めるための提案	全2チームが参加。 青少年センターでイベント行った り、来所者参加型の展示を行った り、青少年センターの賑わいにも寄 与した。		次世代育成課
13	その他	青少年センター とよた若者応援ネット 「プラス」	学生の活動拠点として青少年センターの利用促進を図るとともに、メールマガジン等でボランティアや就活情報など様々な情報を配信する	メールマガジンやSNSを通じて、学 生に情報を届けることができた。		次世代育成課
14	その他	青少年センター とよた学生盛り上げ隊	まちづくりをテーマとした学生会議で、他大学の学生間交流を促進するとともに、地域や企業、行政と連携しながら、学生イベント企画運営や地域の課題解決等を行う	学生の知見や意見を活用することが でき、イベントを実施することで青 少年センターの賑わいにも寄与し た。		次世代育成課
15	(7)学生の活動場 所提供	青少年センター 若者活動支援事業	青少年センターサロンや街中で青少年団体や若者グループ、高校・大学のゼミ活動やクラブ活動の表現機会の場を支援する。	発表の場の少ない文化系の活動や、 コロナ禍で発表の機会が少ないなか、場の提供をすることができ、青 少年センターの賑わいにも寄与した。	0	次世代育成課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
16	その他	青少年センター 若者社会問題支援事業		転職など様々な経験を経た講師を3 名呼び、学生が自分の将来について 見直す機会となった。	0	次世代育成課
17	(1)調査研究・ア ドバイス	子ども読書活動推進ワー キンググループ	子ども読書活動推進のため、関係課 の代表らと意見交換し、よりよい活 動へのアドバイスをいただく	各課の子ども読書活動評価方法の見 直しや、不足していた分野の指摘か ら新規サービスの案等を取りまとめ ることができた。	0	図書館管理課
18	その他	定住促進プロモーション	豊田市への定住を促進するため、市 の魅力や支援制度等の情報発信	豊田市への定住を促進するため、市の魅力や支援・制度等の情報発信を することができた。		定住促進課
19	(2)附属機関委 員・講師の派遣	食の安全・安心を語る懇談会	食の安全・安心に関し、市民、食品 等事業者、学識経験者及び食品行政 機関相互のコミュニケーションを図 るとともに、市民各界の意見を行政 の施策に反映し、効果的かつ円滑に 施策を推進する。	今後の監視指導計画、食の安全確保 に関する施策立案の一助になった		保健衛生課
20	(2)附属機関委 員・講師の派遣	「(仮) 健康づくり運動 プラン(第四次)」策定 委員会	令和6年度を始期とする「(仮)豊田市健康づくり運動プラン(第四次)」を策定するにあたり、必要な事項を検討する。	審議事項に関し、専門的見地からの 意見をいただくことができた。		(保)総務課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
21	(7)学生の活動場 所提供	脱炭素プロモーション事 業	若い世代に「脱炭素社会の推進」に ついて理解し、普及してもらう	事業はR5事業予定。参加者をR4中に集め、キックオフ準備を実施意欲ある学生のワーキングが始動	0	未来都市推進課
22	その他	消防音楽隊と合同演奏	演奏を通じて市民に対して防火防災 を呼びかけることにより、大学生世 代の防火意識の向上を図る	大学生世代の防火防災意識の向上につながった。	0	予防課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
1	(1) 調査研究・ア ドバイス	包括連携協定の推進	包括連携協定を推進するため、連携 協議会等を開催	大学等と各部署の連携の推進及び全 体把握ができた		経営戦略課
2	(1)調査研究・ア ドバイス	大学・高専発 研究提案	大学・高専の知見や教員の研究成果 を活用し、豊田市をフィールドとし た調査・研究等の実施を通して、ま ちづくりの課題解決を図る			経営戦略課
3	(3) まちづくり・ 地域づくりと研究の 連携	「地域・大学等連携シン ポジウム in 豊田市」の 開催	地域と大学・高専をつなぐシンポジ ウムの開催	市民活動団体や他の大学連携機関等多くの人に本市の大学連携の取組を周知でき、今後の地域と大学等との連携促進につなげる機会とすることができた。	0	経営戦略課
4	その他		大学・高専の教員に対する地域等と の連携等に関する意向調査	教員77名から回答あり	0	経営戦略課
5	(3) まちづくり・ 地域づくりと研究の 連携		養蚕・製糸文化の普及・振興に向け た商品アイデア、試作等	稲武生糸の魅力を P R するランタンワーク ショップを開催し、参加者の関心を集めたこ とにより、観光協会による商品開発へと繋 がった。2月のイベントで販売された。	0	稲武支所

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
6	その他	豊田上郷スマートIC 利用促進事業	を達成させるための事業の実施	PRパンフレットを岡崎市及び安城市に合計25,000部の各戸配布を行い、スマートICの利用促進を図ることができた。	0	幹線道路推進課
7	(7) 学生の活動場 所提供	工コ企業取材班	協定企業のエコな取組を取材し、まとめを作成する	学生へのPRにつながった	0	環境保全課
8	(6) 公開講座の実 施	認知症サポーター養成講座	認知症についての正しい知識と対応 を学ぶ	認知症に関する理解啓発		高齢福祉課
9	その他	によるデザイン媒体の制	外国人の市役所における転入等の各種手続きの円滑化及び情報発信の充実を図る	大学の知見を活用したことで、外国 人にとって分かりやすい手続きを行 える体制づくりにつなげることがで きた。		国際まちづくり 推進課
10	(7) 学生の活動場 所提供	ハイブリッド型企業研究 イベント	学生と企業のマッチングイベント	学生への事業周知、参加勧奨、出展		産業労働課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
11	その他	学生まちづくり講座	学生の活動、視点を活かして、魅力 あるまちづくりを進めるための提案	全2チームが参加。 青少年センターでイベント行ったり、来所者参加型の展示を行ったり、青少年センターの賑わいにも寄与した。		次世代育成課
12	その他	青少年センター とよた若者応援ネット 「プラス」	学生の活動拠点として青少年センターの利用促進を図るとともに、 メールマガジン等でボランティアや 就活情報など様々な情報を配信する	メールマガジンやSNSを通じて、学 生に情報を届けることができた。		次世代育成課
13	その他	青少年センター とよた学生盛り上げ隊	まちづくりをテーマとした学生会議で、他大学の学生間交流を促進するとともに、地域や企業、行政と連携しながら、学生イベント企画運営や地域の課題解決等を行う	学生の知見や意見を活用することができ、イベントを実施することで青 少年センターの賑わいにも寄与した。		次世代育成課
14	(7)学生の活動場 所提供	青少年センター 若者活動支援事業	青少年センターサロンや街中で青少年団体や若者グループ、高校・大学のゼミ活動やクラブ活動の表現機会の場を支援する。	発表の場の少ない文化系の活動や、 コロナ禍で発表の機会が少ないなか、場の提供をすることができ、青 少年センターの賑わいにも寄与した。	0	次世代育成課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
15	その他	青少年センター 若者社会問題支援事業	キャリア教育(社会に出る前の若者 に働くこと)等若者の社会的課題か ら自立支援する事業を実施する。	転職など様々な経験を経た講師を3 名呼び、学生が自分の将来について 見直す機会となった。	0	次世代育成課
16	その他	定住促進プロモーション	豊田市への定住を促進するため、市 の魅力や支援制度等の情報発信	豊田市への定住を促進するため、市 の魅力や支援・制度等の情報発信を することができた。		定住促進課
17	(7)学生の活動場 所提供	美術館写生大会	写生大会の写生指導	①芸大生に教育指導の場が提供できた。 ②写生大会参加者は芸大生の絵画指導を直接受けることができた。		美術館
18	その他		豊田市美術館と愛知県立芸術大学との連携	展覧会のPR及び観覧者の増加につながった。		美術館
19	(8)インターン シップ		豊田市美術館と愛知県立芸術大学と の連携	インターン修了生のなかには美術館に就職したり、新聞社の文化事業部の職に就いたりする学生がいる。また、美術館の学芸業務の一部を補助してもらうことで、学芸員の業務軽減にも寄与している		美術館

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
20	(1)調査研究・ア ドバイス		「新豊田駅」から文化ゾーン間のま ちなか空間について、歩行者が楽し	駅から文化ゾーン間のまちなか空間の魅力を高め、歩行者の満足度向上に繋がる様々な提案を聞くことができ、今後の事業展開の参考となった。	0	文化振興課
21	(7)学生の活動場 所提供	脱炭素プロモーション事 業	若い世代に「脱炭素社会の推進」に ついて理解し、普及してもらう	事業はR5事業予定。参加者をR4中に集め、キックオフ準備を実施意欲ある学生のワーキングが始動	0	未来都市推進課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
1	(1) 調査研究・ア ドバイス	包括連携協定の推進	包括連携協定を推進するため、連携協議会等を開催	大学等と各部署の連携の推進及び全 体把握ができた		経営戦略課
2	(1)調査研究・ア ドバイス	大学・高専発 研究提案	大学・高専の知見や教員の研究成果 を活用し、豊田市をフィールドとし た調査・研究等の実施を通して、ま ちづくりの課題解決を図る	大学・高専の知見を活用し、まちづ くり・行政の課題解決につながった		経営戦略課
3		私立運営費補助金申請に 係るプラットフォーム (PF)形成	PFの中長期計画に基づく各取組の 実施	PF内での相互協力や共同による取組が進んだ		経営戦略課
4	(3) まちづくり・ 地域づくりと研究の 連携	「地域・大学等連携シン ポジウム in 豊田市」の 開催	地域と大学・高専をつなぐシンポジ ウムの開催	市民活動団体や他の大学連携機関等多くの人に本市の大学連携の取組を周知でき、今後の地域と大学等との連携促進につなげる機会とすることができた。	0	経営戦略課
5	その他	地域、行政等の連携等に 関する意向調査	大学・高専の教員に対する地域等と の連携等に関する意向調査	教員77名から回答あり	0	経営戦略課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
6	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	豊田市開発審査会	都市計画法第34条第14号又は同法施行令第36条第1項第3号木の規定に基づく付議案件の審議及び都市計画法第50条第1項前段の規定に基づく審査請求への裁決	学識経験者から専門的見地からの意見を得ることができた。		開発調整課
7	(7) 学生の活動場 所提供	工コ企業取材班	協定企業のエコな取組を取材し、まとめを作成する	学生へのPRにつながった	0	環境保全課
8	(4) 防災に関する 協力・連携	災害ロボット開発	災害現場調査等に活用できる災害ロ ボット開発	検証を重ね、課題点をもとに機体を 改良できた。製品化に向け、更なる 検証を進めていく。		警防救急課
9	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	景観アドバイザー	景観に調和したデザイン等の相談、 景観届出に関する助言指導など	景観計画の運用・推進ができた。		建築相談課
10	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	建築審査会	建築基準法における、建築審査会同 意案件の審査など	適正な審査の推進ができた		建築相談課
11	(6) 公開講座の実 施	認知症サポーター養成講座	認知症についての正しい知識と対応 を学ぶ	認知症に関する理解啓発		高齢福祉課
12	(7)学生の活動場 所提供	ハイブリッド型企業研究 イベント	学生と企業のマッチングイベント	学生への事業周知、参加勧奨、出展		産業労働課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
13	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	豊田市産業振興委員会	産業振興及び産業支援に関する審議	専門的な知見を本市の施策に反映できた		産業労働課
14	その他	豊田市雇用対策協定運営協議会	雇用対策事業全般の円滑な運営のための協議	専門的な知見を本市の施策に反映できた		産業労働課
15	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	豊田市企業立地審査会	企業立地奨励条例の運用及び奨励事 業所指定に関する審議	専門的な知見を本市の施策に反映できた		産業労働課
16	(7) 学生の活動場 所提供	とよたものづくりフェス タ(わくわくワールド)	ものづくり体験型イベント	多くの来場者がものづくりを体験することができた。		市民活躍支援課
17	(7)学生の活動場 所提供	とよたものづくりフェス タ(わくわくワールド)	ものづくり体験型イベント	多くの来場者がものづくりを体験す ることができた。		市民活躍支援課
18	その他	学生まちづくり講座	学生の活動、視点を活かして、魅力 あるまちづくりを進めるための提案	全2チームが参加。 青少年センターでイベント行った り、来所者参加型の展示を行った り、青少年センターの賑わいにも寄 与した。		次世代育成課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
19	その他	青少年センター とよた若者応援ネット 「プラス」	学生の活動拠点として青少年センターの利用促進を図るとともに、 メールマガジン等でボランティアや 就活情報など様々な情報を配信する	メールマガジンやSNSを通じて、学 生に情報を届けることができた。		次世代育成課
20	その他	青少年センター とよた学生盛り上げ隊	まちづくりをテーマとした学生会議で、他大学の学生間交流を促進するとともに、地域や企業、行政と連携しながら、学生イベント企画運営や地域の課題解決等を行う	学生の知見や意見を活用することが でき、イベントを実施することで青 少年センターの賑わいにも寄与し た。		次世代育成課
21	(7)学生の活動場 所提供	青少年センター 若者活動支援事業	青少年センターサロンや街中で青少年団体や若者グループ、高校・大学のゼミ活動やクラブ活動の表現機会の場を支援する。	発表の場の少ない文化系の活動や、 コロナ禍で発表の機会が少ないなか、場の提供をすることができ、青 少年センターの賑わいにも寄与した。	0	次世代育成課
22	その他	青少年センター 若者社会問題支援事業	キャリア教育(社会に出る前の若者 に働くこと)等若者の社会的課題か ら自立支援する事業を実施する。	転職など様々な経験を経た講師を3 名呼び、学生が自分の将来について 見直す機会となった。	0	次世代育成課
23	(2) 附属機関委 員・講師の派遣		ものづくり中小企業を対象とした人 材育成事業の実施	専門的知見をとよたイノベーション センターの施策に反映できる。		次世代産業課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
24	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	とよたイノベーションセ ンター推進協議会	とよたイノベーションセンターについて意見交換を行い、今後の施策展開に反映するための会議	専門的知見をとよたイノベーション センターの施策に反映できる。		次世代産業課
25	その他	防災食アレンジレシピの 啓発	防災食アレンジレシピの考案・調理 (学生参加者数: 7名)	防災食を美味しく調理して食品ロス の削減もできるという新たな気づき を提供できた。		循環型社会推進 課
26	(4) 防災に関する 協力・連携	消防団員入団促進	・消防団員の募集 ・消防団員入団促進に関する事業の 周知及び協力依頼	消防団に入団することで、学生が防 火防災に興味を持ち、消防団への理 解を深められた。		(消)総務課
27	その他	図書の相互利用	図書館と連携5大学が所有している 図書の相互貸出	図書館の資料を学生の研究のため に、有効活用してもらうことができ た。また、図書館が所蔵していない 資料を市民に提供できた。		図書館管理課
28	その他	定住促進プロモーション	豊田市への定住を促進するため、市 の魅力や支援制度等の情報発信	豊田市への定住を促進するため、市の魅力や支援・制度等の情報発信を することができた。		定住促進課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
29	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	豊田市都市計画審議会	都市計画審議会の委員として各専門 分野の視点からの助言等を行い、都 市計画案の是非を判断する。	公正かつ専門的な第3者の意見を踏まえて都市計画決定を行うことができた。		都市計画課
30	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	豊田市都市計画審議会	都市計画審議会の委員として各専門 分野の視点からの助言等を行い、都 市計画案の是非を判断する。	公正かつ専門的な第3者の意見を踏まえて都市計画決定を行うことができた。		都市計画課
31	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	豊田市立地適正化計画策 定委員会	豊田市立地適正化計画に防災指針を 位置付ける改定について、各専門分 野の視点からの検討を行う。	学識経験者として専門分野の視点から意見をいただき、計画に反映する ことが出来た。	0	都市計画課
32	(4) 防災に関する 協力・連携	企業BCPの作成支援	市内企業のBCP作成等を支援する ための手法等の提案と実施	防災・減災対策において、企業に BCPの必要性及び作成を行うことが できた。		防災対策課
33	(4) 防災に関する 協力・連携		豊田市自主防災リーダー養成講座実 施における大学との連携	学生目線を取り入れたマイ・タイム ラインの作成支援及び家具固定の講 座を開催することができた。		防災対策課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
34	(4)防災に関する 協力・連携	マイ・タイムライン作成支援事業	マイ・タイムラインを作成する出前 講座を小・中・高等特別支援学校で 実施	小・中・・高等特別支援学校に対して、マイ・タイムラインの必要性を 周知し学生目線を取り入れた作成支援を実施することができた。		防災対策課
35	(4) 防災に関する 協力・連携	1自主防災会事例発表会	自主防災会事例発表会実施における 大学との連携	学生が取組む防災・減災活動の紹介 と自主防災会との連携を図る事例発 表を実施することができた。		防災対策課
36	(4) 防災に関する 協力・連携	とよた防災啓発推進協議会	市民啓発事業の協議と実施における 大学との連携	防災・減災対策において、学生目線 を取り入れた啓発を行うことができ た		防災対策課
37		令和4年度愛知工業大学、北消防署消防1課河川合同調査及び急流操船訓練	愛知工業大学と連携し、河川調査 (水流、地形)を実施して水難救助 活動の資料とする。	水難事故多発場所での河川の特徴 (水流、地形)が把握でき、水難救 助活動時の要救助者発見に参考と なった。	0	(北)消防1課
38	(7)学生の活動場 所提供	脱炭素プロモーション事 業	若い世代に「脱炭素社会の推進」に ついて理解し、普及してもらう	事業はR5事業予定。参加者をR4中に集め、キックオフ準備を実施意欲ある学生のワーキングが始動	0	未来都市推進課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
1	(1) 調査研究・ア ドバイス	包括連携協定の推進	包括連携協定を推進するため、連携協議会等を開催	大学等と各部署の連携の推進及び全 体把握ができた		経営戦略課
2	(1) 調査研究・ア ドバイス	大学・高専発 研究提案	大学・高専の知見や教員の研究成果 を活用し、豊田市をフィールドとし た調査・研究等の実施を通して、ま ちづくりの課題解決を図る	大学・高専の知見を活用し、まちづ くり・行政の課題解決につながった		経営戦略課
3		私立運営費補助金申請に 係るプラットフォーム (PF)形成	PFの中長期計画に基づく各取組の 実施	PF内での相互協力や共同による取 組が進んだ		経営戦略課
4	(3) まちづくり・ 地域づくりと研究の 連携	「地域・大学等連携シン ポジウム in 豊田市」の 開催	地域と大学・高専をつなぐシンポジ ウムの開催	市民活動団体や他の大学連携機関等多くの人に本市の大学連携の取組を周知でき、今後の地域と大学等との連携促進につなげる機会とすることができた。	0	経営戦略課
5	その他		大学・高専の教員に対する地域等と の連携等に関する意向調査	教員77名から回答あり	0	経営戦略課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
6		豊田市×中京大学イーグ ルススポーツスクール	子どもやその保護者を対象とした各種スポーツ教室の開催	専門分野で学んだ正しい知識を基に 教室を開催することができた。 受講者する子どもに年の近い学生が 指導に関わることで、子どもたちが 運動への親しみを持つことができ た。 また、学生にとっても、子どもたち に直接指導を行うことができる貴重 な場となった。 市民への幅広い周知ができ、多くの 市民が参加した。		スポーツ振興課
7	(6) 公開講座の実 施		子どもやその保護者を対象とした各 種スポーツ体験会の開催。	市民への幅広い周知ができ、多くの 市民が参加した。また、行政 P R の 機会にもなった。		スポーツ振興課
8		MIRAIへつなぐ「夢の教 室」in豊田	トップアスリート等を夢先生として 小学校へ派遣。夢を持つ大切さなど を伝える。	子とも達に経験を踏まえて夢の描く ことのすばらしさなどを伝えること ができた。		スポーツ振興課
9			子どもの体力向上に向けて、豊田市 スポーツ協会及び地域スポーツクラ ブと連携して、各種事業を実施す る。			スポーツ振興課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
10	(2)附属機関委 員・講師の派遣	豊田市スポーツ推進審議会		大学の知見を施策反映に活用することができた。		スポーツ振興課
11	(2)附属機関委 員・講師の派遣	地域スポーツ好循環コン ソーシアム	関係団体(中京大学、トヨタ自動車、豊田市、豊田市スポーツ協会、 地域スポーツクラブ会議)で構成される会議体で、地域スポーツの振興 について検討する。	関係団体が実施するスポーツイベント等についての情報共有を行い、連携したPR等を実施することができた。また、8月には関係団体で連携し、フェアリージャパンの演技会を開催し、多くのの市民が来場するなど、コロナ禍においてもスポーツを楽しむ機会を提供できた。		スポーツ振興課
12	(2)附属機関委 員・講師の派遣	豊田スポーツアカデミー	トヨタ自動車・中京大学・豊田市の 産官学連携のもと、中学生向けのス ポーツ教室を開催し、競技力と人間 力の向上を図る。			スポーツ振興課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
13	(2) 附属機関委 員・講師の派遣		中学校部活動の地域移行における目 指す姿や課題等を広く市民と共有す るためのシンポジウムの開催	専門的な知見から意見をもらうこと で、議論を深めることができた。	0	スポーツ振興課
14	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	豊田市こどものスポー ツ・文化活動等に関する 協議会	国が進める「部活動の地域移行」を きっかけとし、こどもたちが持続的 にスポーツ・文化活動等ができるよ うに、地域の実情に応じた新たなス ポーツ・文化活動等の環境を整備す るための協議会を設立	部活動の地域移行について、専門的 な知見から様々な意見をもらうこと ができた。	0	スポーツ振興課
15	その他	豊田市わがまちアスリート	中京大学に在学するトップアスリートをわがまちアスリートとして認定し、市民一体となって応援し、スポーツへの関心を高める。	選手の情報などスムーズなやり取り が可能になり、もれなく認定業務を 行うことができた。		スポーツ振興課
16	(5)教育カリキュ ラム(授業)	市教委・小中学校等の教職員と中京大学の相互交流・研修に関する連携協力	大学と学校等との人的・知的交流を 通じて、教職員の資質向上及び教員 養成の充実を図る	・コンテンツを希望する学校に講師が派遣され、児童生徒が専門的な視点から学ぶことができた。 ・市教委から講師を派遣し、学生が教職について深く学ぶことができた。		学校教育課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
17	(7)学生の活動場 所提供	学生ボランティア	授業や学校行事等の支援を希望して いる学校に対して、登録している学 生を紹介・派遣する。	支援を希望する学校に学生を派遣 し、学校の教育活動の支援をするこ とができた		学校教育課
18	(7)学生の活動場 所提供	教育介護ボランティア		特別な支援が必要な児童生徒が、安心安全に行事に参加できた。		学校教育課
19	(2)附属機関委 員・講師の派遣	豊田市感染症診査協議会	感染症患者の就業制限、入院勧告、 入院期間の延長及び結核外来患者等 の適正医療に対する公費負担申請な どについて診査を実施する。	結核患者等の適正医療に係る診査の 実施		感染症予防課
20	(7) 学生の活動場 所提供	工コ企業取材班	協定企業のエコな取組を取材し、まとめを作成する	学生へのPRにつながった	0	環境保全課
21	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	教育委員	・教育委員会会議及び総合教育会議 における審議 ・各種行事への出席 等	・大学の知見を教育委員会議等の審議に活用		教育政策課
22	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	豊田市上下水道事業審議会	上下水道事業に関する必要な調査及 び研究	大学の知見を審議会に反映		経営管理課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
23	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	豊田市地域経営懇話会	行政改革の推進に関する審議等	大学の高度な知見を本市の施策に活 用することができた。		行政改革推進課
24	(6) 公開講座の実 施	認知症サポーター養成講 座	認知症についての正しい知識と対応 を学ぶ	認知症に関する理解啓発		高齢福祉課
25	その他			講義実施後、学生から市内日本語教室への見学希望があるなど、市の取組に対する学生の関心を高めることができた。	0	国際まちづくり 推進課
26	(7) 学生の活動場 所提供	ハイブリッド型企業研究 イベント	学生と企業のマッチングイベント	学生への事業周知、参加勧奨、出展		産業労働課
27	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	豊田市産業振興委員会	産業振興及び産業支援に関する審議	専門的な知見を本市の施策に反映できた		産業労働課
28	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	豊田市企業立地審査会	企業立地奨励条例の運用及び奨励事 業所指定に関する審議	専門的な知見を本市の施策に反映できた		産業労働課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
29	その他	学生まちづくり講座	学生の活動、視点を活かして、魅力 あるまちづくりを進めるための提案	全2チームが参加。 青少年センターでイベント行った り、来所者参加型の展示を行った り、青少年センターの賑わいにも寄 与した。		次世代育成課
30	その他	青少年センター とよた若者応援ネット 「プラス」	学生の活動拠点として青少年センターの利用促進を図るとともに、 メールマガジン等でボランティアや 就活情報など様々な情報を配信する	メールマガジンやSNSを通じて、学 生に情報を届けることができた。		次世代育成課
31	その他	青少年センター とよた学生盛り上げ隊	まちづくりをテーマとした学生会議で、他大学の学生間交流を促進するとともに、地域や企業、行政と連携しながら、学生イベント企画運営や地域の課題解決等を行う	学生の知見や意見を活用することが でき、イベントを実施することで青 少年センターの賑わいにも寄与し た。		次世代育成課
32	(7)学生の活動場 所提供	青少年センター レクリエーション指導者 派遣		子ども会だけではできないレク活動 を提供することで、子ども会も活性 化し、中京レクとしても活性化する ことができた。		次世代育成課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
33	(7)学生の活動場 所提供	青少年センター 若者活動支援事業	青少年センターサロンや街中で青少年団体や若者グループ、高校・大学のゼミ活動やクラブ活動の表現機会の場を支援する。	発表の場の少ない文化系の活動や、 コロナ禍で発表の機会が少ないな か、場の提供をすることができ、青 少年センターの賑わいにも寄与し た。	0	次世代育成課
34	その他	青少年センター 若者社会問題支援事業	キャリア教育(社会に出る前の若者に働くこと)等若者の社会的課題から自立支援する事業を実施する。	転職など様々な経験を経た講師を3 名呼び、学生が自分の将来について 見直す機会となった。	0	次世代育成課
35	(4)防災に関する 協力・連携	消防団員入団促進	<ul><li>・消防団員の募集</li><li>・消防団員入団促進に関する事業の</li><li>周知及び協力依頼</li></ul>	消防団に入団することで、学生が防 火防災に興味を持ち、消防団への理 解を深められた。		(消)総務課
36	その他	図書の相互利用	図書館と連携5大学が所有している 図書の相互貸出	図書館の資料を学生の研究のため に、有効活用してもらうことができ た。また、図書館が所蔵していない 資料を市民に提供できた。		図書館管理課
37	(2)附属機関委 員・講師の派遣	講座の実施	図書館の資料(貴重資料)を活用した講座の実施	講座を実施することにより図書館の 利用を促進し、講座に関連した図書 資料の活用機会を増やす。		図書館管理課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
38	その他	動画の作成	図書館HPのふるさとアーカイブ内で 公開している図書館動画の作成	図書館の取り組みを知ってもらうと 共に、社会勉強や業界研究の機会と して役立ててもらうことができた。		図書館管理課
39	(1)調査研究・ア ドバイス	子ども読書活動推進ワー キンググループ	子ども読書活動推進のため、関係課 の代表らと意見交換し、よりよい活 動へのアドバイスをいただく	各課の子ども読書活動評価方法の見 直しや、不足していた分野の指摘か ら新規サービスの案等を取りまとめ ることができた。	0	図書館管理課
40	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	豊田市社会福祉審議会	社会福祉に関する事項の調査審議	審議事項に関し、専門的見地からの 意見をいただくことができている。		総務監査課
41	その他	定住促進プロモーション	豊田市への定住を促進するため、市 の魅力や支援制度等の情報発信	豊田市への定住を促進するため、市 の魅力や支援・制度等の情報発信を することができた。		定住促進課
42	(2)附属機関委 員・講師の派遣	豊田市 P C B 処理安全監 視委員会	市民参加によるPCB廃棄物処理事業の安全性・環境保全の確保の確認 (監視)を行い、JESCO及び収集運搬業者と市民との忌憚のない情報交換を行う。	学識経験者として専門的見地からの意見を得ることができた。		廃棄物対策課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
43	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	豊田市地域保健審議会	地域保健及び保健所の運営に関する 事項を審議並びに健康増進その他保 健に関する事項を調査及び審議を行 う。	審議事項に関し、専門的見地からの 意見をいただくことができた。		(保)総務課
44	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	「(仮)健康づくり運動 プラン(第四次)」策定 委員会	令和6年度を始期とする「(仮)豊田市健康づくり運動プラン(第四次)」を策定するにあたり、必要な事項を検討する。	審議事項に関し、専門的見地からの 意見をいただくことができた。		(保)総務課
45	(7)学生の活動場 所提供	脱炭素プロモーション事業	若い世代に「脱炭素社会の推進」に ついて理解し、普及してもらう	事業はR5事業予定。参加者をR4中に集め、キックオフ準備を実施意欲ある学生のワーキングが始動	0	未来都市推進課
46	(2)附属機関委 員・講師の派遣	「(仮称)とよたSDGs 認証制度構築支援業務委 託」プロポーザル	SDGs認証制度の構築に関する委託 事業者の選考	事業者の選定を滞りなく実施でき た。	0	未来都市推進課
47	(4) 防災に関する 協力・連携	高校生消防クラブの運営 補助	高校生消防クラブ員の運営を補助 し、防火・防災リーダーを育てる。	大学生世代の防火防災意識の向上につながった。		予防課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
1	(1)調査研究・ア ドバイス	包括連携協定の推進	包括連携協定を推進するため、連携 協議会等を開催	大学等と各部署の連携の推進及び全 体把握ができた		経営戦略課
2	(1)調査研究・ア ドバイス	大学・高専発 研究提案	大学・高専の知見や教員の研究成果 を活用し、豊田市をフィールドとし た調査・研究等の実施を通して、ま ちづくりの課題解決を図る			経営戦略課
3		私立運営費補助金申請に 係るプラットフォーム (PF)形成	PFの中長期計画に基づく各取組の 実施	PF内での相互協力や共同による取 組が進んだ		経営戦略課
4	(3) まちづくり・ 地域づくりと研究の 連携	「地域・大学等連携シン ポジウム in 豊田市」の 開催	地域と大学・高専をつなぐシンポジ ウムの開催	市民活動団体や他の大学連携機関等多くの人に本市の大学連携の取組を周知でき、今後の地域と大学等との連携促進につなげる機会とすることができた。	0	経営戦略課
5	その他		大学・高専の教員に対する地域等と の連携等に関する意向調査	教員77名から回答あり	0	経営戦略課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
6	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	豊田市感染症診査協議会	感染症患者の就業制限、入院勧告、 入院期間の延長及び結核外来患者等 の適正医療に対する公費負担申請な どについて診査を実施する。	結核患者等の適正医療に係る診査の 実施		感染症予防課
7	(2)附属機関委 員・講師の派遣			大学の高度な知見を本市の不良生活 環境対策に活用することができた		環境保全課
8	(7) 学生の活動場 所提供	工コ企業取材班	協定企業のエコな取組を取材し、まとめを作成する	学生へのPRにつながった	0	環境保全課
9	(6) 公開講座の実 施	認知症サポーター養成講座	認知症についての正しい知識と対応 を学ぶ	認知症に関する理解啓発		高齢福祉課
10	その他	国際救援看護論実習受入	国際救援看護論を学ぶ学生の実習受入	地域における防災及び保険医療について、外国人市民の声を学生たちに 直接届けることができた。	0	国際まちづくり 推進課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
11	(7) 学生の活動場 所提供	ハイブリッド型企業研究 イベント	学生と企業のマッチングイベント	学生への事業周知、参加勧奨、出展		産業労働課
12	(2)附属機関委 員・講師の派遣	豊田市子どもにやさしい まちづくり推進会議		学識経験者の立場より、専門的な知 見での意見をいただいた。		次世代育成課
13	その他	学生まちづくり講座	学生の活動、視点を活かして、魅力 あるまちづくりを進めるための提案	全2チームが参加。 青少年センターでイベント行った り、来所者参加型の展示を行った り、青少年センターの賑わいにも寄 与した。		次世代育成課
14	その他	青少年センター とよた若者応援ネット 「プラス」	学生の活動拠点として青少年センターの利用促進を図るとともに、 メールマガジン等でボランティアや 就活情報など様々な情報を配信する	メールマガジンやSNSを通じて、学 生に情報を届けることができた。		次世代育成課
15	その他	青少年センター とよた学生盛り上げ隊	まちづくりをテーマとした学生会議で、他大学の学生間交流を促進するとともに、地域や企業、行政と連携しながら、学生イベント企画運営や地域の課題解決等を行う	学生の知見や意見を活用することができ、イベントを実施することで青 少年センターの賑わいにも寄与した。		次世代育成課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
16	(7)学生の活動場 所提供	青少年センター 若者活動支援事業	青少年センターサロンや街中で青少年団体や若者グループ、高校・大学のゼミ活動やクラブ活動の表現機会の場を支援する。	発表の場の少ない文化系の活動や、 コロナ禍で発表の機会が少ないな か、場の提供をすることができ、青 少年センターの賑わいにも寄与し た。	0	次世代育成課
17	その他	青少年センター 若者社会問題支援事業	キャリア教育(社会に出る前の若者に働くこと)等若者の社会的課題から自立支援する事業を実施する。	転職など様々な経験を経た講師を3 名呼び、学生が自分の将来について 見直す機会となった。	0	次世代育成課
18	(4) 防災に関する 協力・連携	消防団員入団促進	・消防団員の募集 ・消防団員入団促進に関する事業の 周知及び協力依頼	消防団に入団することで、学生が防 火防災に興味を持ち、消防団への理 解を深められた。		(消)総務課
19	その他	図書の相互利用	図書館と連携5大学が所有している 図書の相互貸出	図書館の資料を学生の研究のために、有効活用してもらうことができた。		図書館管理課
20	(1)調査研究・ア ドバイス		介護予防事業の評価方法に関するアドバイス、事業実績によるデータから課題を抽出する	今後の評価事業に反映させる内容を 検討できた。		地域保健課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
21	その他	定住促進プロモーション	豊田市への定住を促進するため、市 の魅力や支援制度等の情報発信	豊田市への定住を促進するため、市の魅力や支援・制度等の情報発信を することができた。		定住促進課
22	(2)附属機関委 員・講師の派遣	豊田市地域保健審議会	地域保健及び保健所の運営に関する 事項を審議並びに健康増進その他保 健に関する事項を調査及び審議を行 う。	審議事項に関し、専門的見地からの 意見をいただくことができた。		(保)総務課
23	(2)附属機関委 員・講師の派遣	「(仮)健康づくり運動 プラン(第四次)」策定 委員会	令和6年度を始期とする「(仮)豊田市健康づくり運動プラン(第四次)」を策定するにあたり、必要な事項を検討する。	審議事項に関し、専門的見地からの 意見をいただくことができた。		(保)総務課
24	(7)学生の活動場 所提供	脱炭素プロモーション事 業	若い世代に「脱炭素社会の推進」に ついて理解し、普及してもらう	事業はR5事業予定。参加者をR4中に集め、キックオフ準備を実施意欲ある学生のワーキングが始動	0	未来都市推進課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
1	(1) 調査研究・ア ドバイス	包括連携協定の推進	包括連携協定を推進するため、連携協議会等を開催	大学等と各部署の連携の推進及び全 体把握ができた		経営戦略課
2	(1)調査研究・ア ドバイス	大学・高専発 研究提案	大学・高専の知見や教員の研究成果 を活用し、豊田市をフィールドとし た調査・研究等の実施を通して、ま ちづくりの課題解決を図る			経営戦略課
3		私立運営費補助金申請に 係るプラットフォーム (PF)形成	PFの中長期計画に基づく各取組の 実施	PF内での相互協力や共同による取 組が進んだ		経営戦略課
4	(3) まちづくり・ 地域づくりと研究の 連携	「地域・大学等連携シン ポジウム in 豊田市」の 開催	地域と大学・高専をつなぐシンポジ ウムの開催	市民活動団体や他の大学連携機関等多くの人に本市の大学連携の取組を周知でき、今後の地域と大学等との連携促進につなげる機会とすることができた。	0	経営戦略課
5	その他		大学・高専の教員に対する地域等と の連携等に関する意向調査	教員77名から回答あり	0	経営戦略課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
6	(7) 学生の活動場 所提供	工コ企業取材班	協定企業のエコな取組を取材し、まとめを作成する	学生へのPRにつながった	0	環境保全課
7	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	豊田市奨学金審査委員会	豊田市奨学生の選考審査	・教育関係者としての知見を奨学生選考に活用		教育政策課
8	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	豊田市上下水道事業審議会	上下水道事業に関する必要な調査及 び研究	大学の知見を審議会に反映		経営管理課
9	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	景観アドバイザー	景観に調和したデザイン等の相談、 景観届出に関する助言指導など	景観計画の運用・推進ができた。		建築相談課
10	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	豊田市公共交通会議委員	豊田市公共交通に関する協議等	専門的な知見から施策への提案や意 見をいただくことができた		交通政策課
11	(6) 公開講座の実 施	認知症サポーター養成講座	認知症についての正しい知識と対応を学ぶ	認知症に関する理解啓発		高齢福祉課
12	(7)学生の活動場 所提供	ハイブリッド型企業研究 イベント	学生と企業のマッチングイベント	学生への事業周知、参加勧奨、出展		産業労働課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
13	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	豊田市産業振興委員会	産業振興及び産業支援に関する審議	専門的な知見を本市の施策に反映できた		産業労働課
14	(7) 学生の活動場 所提供	とよたものづくりフェス タ(わくわくワールド)	ものづくり体験型イベント	多くの来場者がものづくりを体験す ることができた。		市民活躍支援課
15	(7) 学生の活動場 所提供	とよたものづくりフェス タ(わくわくワールド)	ものづくり体験型イベント	多くの来場者がものづくりを体験す ることができた。		市民活躍支援課
16	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	とよたサイエンスクラブ I		学識経験者から科学・ものづくりの 基礎的な知識や実験を学ぶことがで きた		市民活躍支援課
17	(6) 公開講座の実 施	高等教育機関公開講座	県内高等教育機関との共催による市 民公開講座の開催	市民の方に専門的な講座を気軽に受講できる環境を提供できた。		市民活躍支援課
18	その他	学生まちづくり講座	学生の活動、視点を活かして、魅力 あるまちづくりを進めるための提案	全2チームが参加。 青少年センターでイベント行った り、来所者参加型の展示を行った り、青少年センターの賑わいにも寄 与した。		次世代育成課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
19	その他	青少年センター とよた若者応援ネット 「プラス」	学生の活動拠点として青少年センターの利用促進を図るとともに、 メールマガジン等でボランティアや 就活情報など様々な情報を配信する	メールマガジンやSNSを通じて、学 生に情報を届けることができた。		次世代育成課
20	その他	青少年センター とよた学生盛り上げ隊	まちづくりをテーマとした学生会議で、他大学の学生間交流を促進するとともに、地域や企業、行政と連携しながら、学生イベント企画運営や地域の課題解決等を行う	学生の知見や意見を活用することが でき、イベントを実施することで青 少年センターの賑わいにも寄与し た。		次世代育成課
21	(7)学生の活動場 所提供	青少年センター 若者活動支援事業	青少年センターサロンや街中で青少年団体や若者グループ、高校・大学のゼミ活動やクラブ活動の表現機会の場を支援する。	発表の場の少ない文化系の活動や、 コロナ禍で発表の機会が少ないな か、場の提供をすることができ、青 少年センターの賑わいにも寄与し た。	0	次世代育成課
22	その他	青少年センター 若者社会問題支援事業	キャリア教育(社会に出る前の若者に働くこと)等若者の社会的課題から自立支援する事業を実施する。	転職など様々な経験を経た講師を3 名呼び、学生が自分の将来について 見直す機会となった。	0	次世代育成課
23	(2)附属機関委 員・講師の派遣		ものづくり中小企業を対象とした人 材育成事業、技術相談の実施	専門的知見をとよたイノベーション センターの施策に反映できる。		次世代産業課

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
24	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	とよたイノベーションセ ンター推進協議会	とよたイノベーションセンターについて意見交換を行い、今後の施策展開に反映するための会議	専門的知見をとよたイノベーション センターの施策に反映できる。		次世代産業課
25	(2) 附属機関委 員・講師の派遣	とよたイノベーションセ ンター推進協議会	とよたイノベーションセンターについて意見交換を行い、今後の施策展開に反映するための会議	専門的知見をとよたイノベーション センターの施策に反映できる。		次世代産業課
26	(5) 教育カリキュ ラム (授業)		豊田工業高等専門学校の学生を対象にした上下水道に関する授業の実施	上下水道事業への理解度が深まった。		(上下水)企画 課
27	(1)調査研究・ア ドバイス	水道水の安全性啓発活動に対する提案		学生目線の水道事業PR案の提案を受けることができ、今後の効果的な水道事業PRに寄与することができた。	0	上水運用セン ター
28	(1)調査研究・ア ドバイス		山間地域で発生する消毒副生成物の 発生要因の追求	山間地域の原水質の特性を把握し、 消毒副生成物の発生解明に寄与し た。	0	上水運用セン ター

No.	分野	事業名	事業内容	連携の効果	令和4年度 新規事業	所属名
29	その他	定住促進プロモーション	豊田市への定住を促進するため、市の魅力や支援制度等の情報発信	豊田市への定住を促進するため、市の魅力や支援・制度等の情報発信を することができた。		定住促進課
30	(2)附属機関委 員・講師の派遣	豊田市都市計画審議会	都市計画審議会の委員として各専門 分野の視点からの助言等を行い、都 市計画案の是非を判断する。	公正かつ専門的な第3者の意見を踏まえて都市計画決定を行うことができた。		都市計画課
31	(2)附属機関委 員・講師の派遣	豊田市立地適正化計画策定委員会	豊田市立地適正化計画に防災指針を 位置付ける改定について、各専門分 野の視点からの検討を行う。	学識経験者として専門分野の視点から意見をいただき、計画に反映する ことが出来た。	0	都市計画課
32	(7)学生の活動場 所提供	脱炭素プロモーション事 業	若い世代に「脱炭素社会の推進」に ついて理解し、普及してもらう	事業はR5事業予定。参加者をR4中に集め、キックオフ準備を実施意欲ある学生のワーキングが始動	0	未来都市推進課